

ふくしまの現状を見つめる KOBE ウィーク

【趣旨】

東日本大震災からまる3年以上が経った今も、福島をはじめとした東日本では、多くの子どもたちが放射性物質の影響や不安などにより、屋外で遊べない状況に置かれています。原発事故は、放射能汚染地域に住む人々に、様々な健康的・心理的・経済的な影響を与えています。ふくしまの現状や避難者の方の想い、被曝から守るための現地での取り組みをお聞きし、遠くに住む私たちに何ができるか、考えていきたいと思いません。

【日程・テーマ】

□ Week1: **原発避難者の現状**

話題提供: **鈴木一正** (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)

会場: 神戸大学国際文化学部キャンパス M303 教室

内容: 原発避難者の概要や放射能汚染の実態を知り、これからの支援について考える。

6/12(木)
12:30~13:00

終了後フリースタックタイムあり

□ Week2: **保養プログラムとは** (各保養プログラムのボランティア募集案内を兼ねる)

話題提供: **小野洋** (福島の子どもを招きたい! 明石プロジェクト 代表)

鈴木一正 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)

会場: 神戸大学国際文化学部キャンパス M303 教室

内容: 保養プログラムの紹介と意義。夏休みに関西で行われる保養プログラムのボランティア募集情報もあります。

6/19(木)
12:30~13:00

終了後フリースタックタイムあり



□ Week3: **母子避難させているお父さんの考えていること**

話題提供: **荒木田岳** (福島大学行政政策学類准教授)

会場: 神戸大学国際文化学部キャンパス K402 教室

内容: 自身は福島に残り、妻子を新潟に母子避難させている父親の立場から、「脱被曝」を実体験にもとづいて語る。

第1部 12:30~13:10 「母子避難させているお父さんの考えていること」

第2部 13:20~14:50 「ふくしまの現状」(健康問題・行政の対応・住民の考えなど)

※ 託児が必要な場合はあらかじめご連絡ください。hq-vol@lab.kobe-u.ac.jp

6/23(月)
12:30~14:50

□ 参加申込不要・無料・神戸大学の学生以外の参加も可能

【主催・問合せ先】

神戸大学学生ボランティア支援室

TEL 078-803-6256 / FAX 078-803-6028

E-mail: hq-vol@lab.kobe-u.ac.jp



会場地図



【会場】

神戸大学国際文化学部キャンパス

6/23（月）：K402教室

上記地図の67番の建物

【バス利用】

阪神「御影」駅／JR「六甲道」駅／阪急「六甲」駅より **神戸市バス16系統六甲ケーブル下行き乗車**，
「神大国際文化学部前」下車

【タクシー利用】

- 阪神「御影」駅より約15～20分
- JR「六甲道」駅より約10～15分
- 阪急「六甲」駅より約5～10分